

令和4年度 東京都立府中高等学校 学校経営計画

校長 奥秋 將史

目指す学校像

生徒を勇気づけ励まし、学力、体力、徳力を伸ばし、一人一人の自己実現・進路実現を図るとともに、社会の一員としての役割を果たさせるため、日々、学校の教育活動の水準向上を目指す。

目指す学校像	1	「向上進取の精神と高い志の涵養」を目標に掲げ、将来の日本や国際社会において主体的に貢献するための資質・能力をもつ人材を育成します。地域社会における人との関わりを大切にし、地域の中核として協働する能力を持つ人材を育成します。(スクールミッション)
	2	学校行事や部活動・委員会活動を通じて社会性と健全な心身を育てる。
	3	人権尊重の精神を理解し、地域の方々から愛され、困難にも挫けることなく前向きに人生を歩める生徒を育てる。

2 中期的目標と方策

教育活動における最重要課題「学校の組織的な教育力の強化」

中期目標	1	高い志をもち、夢をあきらめない心を育成	
	2	組織的な進学指導体制の充実を図り、国公立大学や難関私立大学に合格できる学力の養成	
	3	規範意識と公共心の育成	
	4	真の自主性と自律性の育成	
方策	1	TOKYOスマートスクール構想による学習のデジタル化を推進し、学力の向上と定着を図る。	学習指導・進路指導
	2	グランドデザインにもとづく、観点別評価により育成すべき資質・能力の向上を図る。	学習指導・進路指導
	3	キャリア教育指導計画に基づき、第一志望校進学を実現させる。	学習指導・進路指導
	4	公共心と健康で安全な生活に必要な能力と態度を育てる。	生活指導、特別活動・部活動
	5	知力、体力、徳力の向上を図り、社会人としての実践的な態度を養う。	生活指導
	6	部活動を一層充実させ、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。	特別活動・部活動
	7	地域への貢献を通して、集団や社会の一員として、自主的、実践的な態度を育てる。	体力の向上・健康の増進
	8	防災に関する正しい知識を身に付けさせ、共助の精神を醸成する。	防災教育・安全教育
	9	教育活動を積極的に広報するとともに、近隣中学校や地域へ情報を発信する。	募集・広報活動
	10	新学習指導要領を踏まえた学校図書館の活用による授業改善及び読書活動を推進する。	
	11	経営企画室の機能を高め、計画的・効率的な予算の編成・管理・執行を行う。	学校経営・組織体制
	12	主幹教諭、主任教諭による計画的なOJTの推進。経験則の業務能力と実績を組織活用する。	

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

学習指導 進路指導	1	国公立大や難関私立大を意識した進学指導対策事業による組織的・効果的な指導を行う。英語4技能テストのアセスメント検定版を活用して習熟の度合いを図り、英語力を向上させる。生徒一人一台端末を効果的に活用する。
	2	進学指導研究校として、進路指導部主導による組織的な模試分析会や進路検討会(ケース会議)を更に推進し、全教職員による共通認識のもと、より効果的な生徒への還元に努め、一段高い生徒の進路実現を図る。
	3	学習と部活動の棲み分けを行い、土曜日を含む学期中及び長期休業日中の補習・講習及び任意の学習課題により自発的な自学自習する取り組みを推進する。保護者との個別面談を計画的に実施して、家庭との連携を充実させる。
	4	言語能力の向上を図るため、読書活動を一層推進するとともに英語検定等各教科に関連する検定受験を推進する。
	5	普通科高校における特別支援教育の推進を図ることにより、個別指導計画等に基づく指導・支援を充実させる。
	6	地域探究アソシエイト校として、横断的かつ有機的な取組を、学校組織全体で持続可能なキャリア教育を推進していく。
	7	ボランティアマインド育成等、全教育活動を通して「東京都オリンピック・パラリンピック教育」レガシーを推進する。
生活指導	1	時間遵守の指導、挨拶の励行の徹底、頭髮の染色、化粧や装飾品等をさせない指導等、基本的生活習慣を確立する。
	2	授業規律をはじめとした学校生活のルール・マナーを遵守させるため、生活指導を全校体制で行う。
	3	いじめや体罰は絶対にさせない見過ごさない校内体制を構築し、生徒や保護者が安心・安全な学校生活を保障する。
特別活動 部活動	1	「Sport-Science Promotion Club」による部活動ガイドライン及び文化・スポーツ特別推薦による学校の活性化を図る。
	2	学校行事や委員会活動を充実させ、社会性や帰属意識の育成を図るとともに学校内外に貢献する姿勢を醸成する。
防災教育 安全教育	1	災害から自らの命を守るために必要な「自助」の能力を身に付けさせ、社会貢献など「共助」の精神を育成する。
	2	生命を尊重し、学校安全計画年間指導計画に基づき、登下校時の交通安全と災害等に対応した安全指導を推進する。
体力の向上 健康の増進	1	体育授業、部活動、学校行事等あらゆる機会を捉えて、基礎体力及び運動能力の向上を全校で取組む。
	2	東京都体力テストの結果を踏まえ、普段運動をする習慣のない生徒に、効率的に運動量を確保する取組みを推進する。
	3	生活習慣病に関する知識や対処を学び、がん教育を推進する。感染症防止対策を徹底し、健康な生活を維持する。

募集広報活動	1	ホームページのタイムリーな更新や授業公開5回、学校から地域・保護者等への最新の情報発信に努める。
	2	学習指導、進路指導の特色、行事・部活動等の広報や、中学校との連携事業を推進する。
学校経営組織体制	1	教科主任会を設置し、教科として全学年の学習指導を組織的・計画的かつ効果的に実施する。
	2	コンプライアンスによる個人情報の適切な管理及びクリーンデスク及びセキュリティ強化を推進する。
	3	教師、生徒における暴力行為や暴言、不適切な指導などすべての体罰等の根絶を図る。また、サービスの厳正を徹底する。
	4	教育相談委員会においてスクールカウンセラーとの連携を密に行い、問題の共有化による組織的な課題解決を図る。
	5	IT推進チームを核にデジタル化を推進し、統合型校務支援システム、庶務事務システムを円滑に活用する。
	6	省エネECO活動を推進し、経営企画室の業務進行管理を機能的に行い、都民の信頼に応える。

(2) 重点目標と方策

①	各教科の大学入学共通テスト問題等の研究・研修活動により、国公立大や難関私立大の組織的な受験指導力、教科指導力の向上を図る。新教育課程本格実施による観点別評価の円滑な導入実施する。生徒一人一台情報端末を計画的、効果的に活用する。
②	全教職員（全教科）参加による組織的な模試分析会や共通テストの分析、進路検討会（ケース会議）を各学期1回以上実施する。
③	長期休業日中に進学対策及び学力向上のための講座を80以上、各教科が組織的に全校生徒が受講可能な講習計画を実施する。
④	国公立大学、難関私立大学志望者に特化した「立志塾」を創設して、高みを目指す生徒を育成し大学受験は団体戦の気概を醸成する。
⑤	生活指導指針に基づく規範意識の育成では、身だしなみの指導を充実させ、高校生活にふさわしい服装とし、頭髮の染色、化粧を行わせない指導、不必要な装飾品を装着させない指導を行い、落ち着いて学習や部活動に取り組める環境を醸成する。儀式的行事では、標準服を着用させる。学年集会等の集団での行動を迅速且つ静粛・厳正に行い、けじめのある学校生活を構築する。
⑥	授業規律を遵守し、生徒の学習環境・学習習慣を整える。自学自習の推進「1日1課題(任意課題)」により生徒が自ら学習する意欲を高め、自宅学習時間を第1学年90分以上、第2学年120分以上を確保する。授業時間ごとの宿題の出題、小テストを継続して実施する。
⑦	遅刻者の防止に努める。遅刻防止キャンペーン、各学期の遅刻指導（複数回）を実施する。
⑧	登下校時における危険箇所の確認や自転車の運転マナーの向上を図り、自転車事故0（ゼロ）を目指す。交通安全、特に自転車を中心とした二輪車利用に関する交通安全教育を充実させるため、保護者や地域と連携し交通安全教室を開催する。
⑨	部活動加入率95%以上とし、関東大会、都大会への出場や、高文連のコンクール等への出場を実現する。また、「地域探究推進事業アソシエイト校」の指定を受け、探求推進委員会による「総合的な探究の時間」の計画的・組織的な充実を図る。
⑩	より高次な自己実現や進路希望を実現していくため、各分掌、各教科の横断的かつ有機的な取組を通して、学校組織全体でキャリア教育を推進する。本校学力スタンダードを策定し、校内での統一指針に基づき指導内容・方法を見直すとともに、生徒が基準に到達するまで学習指導を繰り返し行い、卒業まで必要な学力を確実に身に付けさせる。
⑪	入学選抜方法の分析検証を図る。募集対策は、校舎改築と新カリキュラムの特色（HP更新150回以上）及びオンライン活用。
⑫	コロナ禍における文化祭・体育祭など行事の教育的意義を活かす実施形態や方法を改善し、豊かな人間関係づくりの場を整える。
⑬	授業や体育的行事及び部活動を通じて、生徒の体力向上を図り、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ろうとする態度を育成するため、東京都体力テストを実施し、保健体育科を中心として全校体制で体力、運動能力の向上を図る。
⑭	新学習指導要領を踏まえた学校図書館の利活用を図る。読書週間、書評合戦、読書活動指導を充実させ、言語能力向上を図る。
⑮	校内美化を常に心がけ、毎日の清掃活動の他、各学期2回以上の大掃除を全校体制で実施し、衛生的な学習環境を整える。
⑯	いじめや体罰、暴力行為の根絶のため、校内服務事故防止研修会を年間3回以上実施する。
⑰	年間防災教育活動計画に基づき、避難所設置・運営訓練を含め年4回の避難訓練を実施する。被災後の共助について、地域と連携した指導、訓練を行い、主体的行動力を身に付けさせるとともに防災リーダー(委員)の育成を図る。
⑱	地域の特別支援学校のセンター的機能を活用してコーディネーターの育成する連携体制を推進し、特別支援教育マインドを向上させ、個別指導計画等に基づく指導・支援を充実させる。定期的な調査、生徒の健康維持や心と体のケア、状況把握と対応、自殺防止に当たる。
⑲	ボランティアマインドや障がい者理解、スポーツへの関心を高め、公共の精神、国際感覚等を学び、日本人としての自覚と誇りを身に付けさせ、全教育活動を通して2020東京オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを推進する。
⑳	家庭と学校の連携を充実するため、保護者会及び保護者面談の適時開催及びオンラインを活用し、家庭との連携を効率化を図る。また、学校、学年通信等、ホームページに随時公開し、メール配信やClassi活用して迅速かつ効果的な家庭と学校での情報の共有化を図る。
㉑	個人情報の徹底管理を図るため、毎月クリーンデスクの日を定め、机上整理を確実に行う。
㉒	各分掌等で年度当初の目標設定と月毎の進捗管理による組織力強化を図る。各種事務処理プランを活用し、経営企画室の業務進行管理を一層強固なものにする。ライフ・ワーク・バランス実現に向けて、各種会議の上限時間を設定する等、時間短縮、業務の効率化を図る。
㉓	生徒が安心して学業に専念できる学習環境を整備するため、仮設校舎での生活環境の見直し改善を図る。

令和4年度の数値目標		R3年度	←R2年度	←31年度
①	国公立大現役合格者数	8名以上	3名	← 4名 ← 2名
②	上位難関私立大（早慶上理）現役合格者数	8名以上	1名	← 5名 ← 3名
③	難関私立大（GMARCH等）現役合格者数	50名以上	30名	← 43名 ← 32名
④	日東駒専現役合格者数	70名以上	65名	← 53名 ← 56名
⑤	大学入学共通テスト受験者数及び全国平均得点上回り率	200名、0.95以上	152名0.91	← 204名 0.91
⑥	全国模試3教科・科目平均偏差値 第1学年	48以上	46.2	← 46.2 ← 44.7
⑦	全国模試3教科・科目平均偏差値 第2学年	49以上	46.4	← 48.6 ← 44.3